

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【公開番号】特開2000-61088(P2000-61088A)

【公開日】平成12年2月29日(2000.2.29)

【出願番号】特願平10-237041

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月23日(2008.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 特定入賞部への遊技媒体の入賞によって始動スイッチがオンしたことに
もとづいて特別遊技を行い、特別遊技の結果が所定の態様になったことにもとづいて遊技
者に所定の遊技価値が付与可能となる遊技機であって、

所定の間隔で抽選処理を含む遊技制御プログラムを実行する遊技制御手段と、

前記所定の間隔よりも短い間隔で数値が更新される外部カウンタと、

前記始動スイッチからの信号がオン状態になった場合に前記外部カウンタの数値を取得
する数値取得手段とを備え、

前記遊技制御手段は、前記数値取得手段が数値を取得した後に実行される前記遊技制御
プログラムにおいて、前記始動スイッチからの信号のオン状態が正常であると判定し、か
つ、始動入賞記憶に空きがあるか否かを判定して空きがあると判定した場合に前記数値取
得手段が取得した数値を前記抽選処理に用いられる数値として採用する

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

【課題を解決するための手段】

本発明による遊技機は、特定入賞部への遊技媒体の入賞によって始動スイッチがオンし
たことにもとづいて特別遊技を行い、特別遊技の結果が所定の態様になったことにもとづ
いて遊技者に所定の遊技価値が付与可能となる遊技機であって、所定の間隔で抽選処理を
含む遊技制御プログラムを実行する遊技制御手段と、所定の間隔よりも短い間隔で数値が
更新される外部カウンタと、始動スイッチからの信号がオン状態になった場合に外部カウ
ンタの数値を取得する数値取得手段とを備え、遊技制御手段は、数値取得手段が数値を取
得した後に実行される遊技制御プログラムにおいて、始動スイッチからの信号のオン状態
が正常であると判定し、かつ、始動入賞記憶に空きがあるか否かを判定して空きがあると
判定した場合に数値取得手段が取得した数値を抽選処理に用いられる数値として採用する
ように構成される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0010
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0073
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0073】

以上のように、この実施の形態では、始動口スイッチ17の出力を、I/Oポート57に入力するとともに、乱数確定レジスタ77にラッチ信号として入力する。よって、乱数確定レジスタ77は、始動口スイッチ17の出力にもとづいて随時16ビットカウンタ76のカウント値をラッチしている。そして、CPU56は、I/Oポート57を介して入力した始動口スイッチ17の出力が確実にオンしていると判断したら、乱数確定レジスタ77にラッチされているカウンタ値を入力する。従って、始動入賞検出時点と乱数取得タイミングのずれはない。また、乱数確定レジスタ77におけるラッチはハードウェア的に行われるので、大当り判定用乱数を抽出するための基本回路53の負担が軽減される。

【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0076
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0076】

【発明の効果】

以上のように、本発明によれば、遊技機を、所定の間隔で抽選処理を含む遊技制御プログラムを実行する遊技制御手段と、所定の間隔よりも短い間隔で数値が更新される外部カウンタと、始動スイッチからの信号がオン状態になった場合に外部カウンタの数値を取得する数値取得手段とを備え、遊技制御手段は、数値取得手段が数値を取得した後に実行される遊技制御プログラムにおいて始動入賞記憶に空きがあるか否かを判定して空きがあると判定した場合に数値取得手段が取得した数値を抽選処理に用いられる数値として採用するように構成したので、遊技制御プログラムの起動周期とは同期せずに数値を発生する外部カウンタの出力にもとづいて抽選処理を行うことができるので、所定の起動タイミングに同期して遊技制御手段から出力される各種信号を観測しても、大当り判定用乱数の抽出タイミングを推測することはできなくなり、遊技制御手段の外部から、大当りを不正に発生させるための信号を与えることができなくなって、不正遊技行為を効果的に防止できる効果がある。

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0077
【補正方法】削除
【補正の内容】